令和5年度 第1回 佐世保市図書館協議会 会議録(案)

1. 日 時 令和5年11月22日(水) 午後4時～午後6時00分

2. 場 所 佐世保市立図書館 4階 A会議室

3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数5名)(出席5名)

- ・学校教育関係者 諸藤 智一 ・社会教育関係者 豊村 貴美子
- ・社会教育関係者 奥永 紀子 ・家庭教育関係者 松山 裕美香
- ・学識経験者 中島 金太郎

○事務局・説明者(出席3名)

- ・図書館長 中尾 香代子 ・館長補佐兼図書第一係長 林 慎一
- ・図書第二係長 内海 由佳

4. 会次第

(1) 開会

(2) 議題

- ①令和4年度事業報告・令和4年度決算状況について
- ②令和5年度の事業実施状況について
- ③佐世保市立図書館運営方針について
- ④その他

(3) 閉会

5. 議事(要点筆記)

(1) 開会

(2) 議題

①令和4年度事業報告・令和4年度決算状況について

《 質 疑 》

委員：

貸出者数が前年度と比較をして8,330人減したものの、年間利用者数については27,108人の増ということだが理由があるのか。

また、駐車場有料化がどのように影響があったのか。

事務局：

新型コロナウイルス感染症の影響で、図書館の利用制限を数回行っていることから、本を借りて、自宅で読む利用者が多かったのではないかと分析している。

そのため感染症が収束したことに伴い、図書館で貸出を受けずに読書される方や自主学習で施設を利用される方などが増えたため、年間利用者数が増加したが貸出者数が減少したのではないかと考えている。

また、貸出者数が減少している要因として、様々なメディアが普及していることやサブスクリプション(定期購読、継続購入)による電子書籍が読めるような環境になったことなども影響があったの

ではないかと感じている。

加えて、本を実際に借りて読むってことをされる方が減少したと感じられるものとして、以前は、公共交通機関を利用し来館いただいた方が多くいた。

特に高齢者の方のようだが、外出を控えられているようで、お見かけしなくなってきた方が多いと聞いている。

駐車場の利用については、令和4年4月から有料化となったが、十分期間を設け周知広報を行い、利用者の皆様には説明を行い、ご理解をいただいたことでとくに混乱もなかった。

駐車時間が1時間までは無料ということで、時間内で要件等を済ませて帰られる方がいらっしゃることは承知しており、ご不便な部分はあるとは思いますが、今回の件に影響はなかったと考えている。

会長：

利用者数の増と貸出者数の減については、座席数や閲覧場所が少ないとの指摘を受けて、学習コーナーなどを拡大しているため、滞在型の図書館にシフトしてきていると感じている。

本を借りて帰らず、図書館で学習しているというのも影響があるように思う。

事務局：

今のご意見にありましたように学習室として3階講座室を常時開放し、視聴覚室においても、イベント等がない場合は、必要に応じて臨時的に学習室として開放している。

②令和5年度の事業実施状況について

《 質 疑 》

委員：

例えば、学校教諭と図書館司書など、交流会のようなものができれば、良いのではないかと。

事務局：

様々な形での連携を検討したい。図書館に係る共通の課題などについて、交流会といった協議できる場を設けられたら良い。

その際は、ご協力よろしくお願ひしたい。

委員：

「図書館の活用」ということについて、活用のツールとして図書館が使われなくなった際に、図書館は使われなくなってしまうのではないかとという危惧がある。

もちろん活用の視点は必要ではあるが、図書館はどういった場所なのかというようなものを、児童生徒に印象付けしながら、別の楽しみ方があるというような、良き「余暇の場所」としての意味合いというもの、生涯学習の観点からは必要なのではないかと考えている。

これは、博物館の活用論でもよく言われることで、博物館は、活用するという言葉がよく使われる。しかしながら、「何のために使うのか」、「どのように使うのか」というところで、ツールとしての役割だけで終わってしまっはいけないのではないかとという考え方がある。

したがって、図書館の役割として2つの考え方が必要ではないかという意見を申し上げたい。

委員：

平戸市図書館には、ピアノが置いてあり、ライブラリーコンサートが、毎月行われている。
それに初めて参加したが、コンサートで集まった人達が、そのまま図書館へ足を運ぶ様子を見て、良い取り組みだなと感じた。

事務局：

ライブラリーコンサートは、新型コロナウイルス感染症が流行する前は年に数回ライブ形式で実施していた。

内容としては、ゴールデンウィークの図書館まつりで、様々な市民の方や音楽サークルが音楽会で演奏を行ったり、児童室が閉まる6時以降に、ハロウィンのコンサートを行ったり、現在中止しているものの、普段図書館に馴染みのない方々が音楽をきっかけに来館されて、そのまま図書館を利用されるケースが見受けられた。

今後再開を検討したい。

③佐世保市立図書館運営方針について

《 質 疑 》

委員：

「DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した利便性の向上」で新規の取り組みの具体的なものがあるのか。

事務局：

現在の検索システム、インターネット予約システムに加え、利用者の利便性向上を目指して来年度の電算機器入替の際に、2台の自動貸出機の導入を検討している。

委員：

「司書派遣による生涯学習の支援」とあるが、具体的な対象を確認したい。
例えば、大学の授業への司書派遣やオンラインでの対応なども可能なのか。
また、郷土に関する資料を活用した支援でなども可能なのか。

事務局：

司書派遣による生涯学習の支援については、学校支援として小・中学校を対象に司書派遣を行っている。

内容としては「おはなし会」、「図書館を使った調べる学習講座」などを実施している。

その他の支援として、教育委員会社会教育課が行っている「佐世保市まちづくり出前講座」において、市内在住または通勤の方で10人以上の団体やグループを対象とした出前講座として派遣を行っている。

例えば、「いつでもどこでもビブリオバトル」という講座は、ビブリオバトルやってみたいけれどもやり方がわからない団体に対して、開催の方法や運営の方法などを司書派遣を行い支援している。

委員：

古文書の補修修復について、例えば博物館でなどの他の社会教育施設や大学などと連携をした事業展開などの考えがあるのか。

事務局：

現在、大学や他の施設との連携は行っていない。

古文書の修復の専門スタッフはいないため、研修として長崎歴史博物館が年1回開催する古文書修復講座に司書を受講させている。

委員：

「各年度の事業計画について」の評価について、例えば、博物館などで、自己評価や外部評価等で、事業実施者にフィードバックなどを行っているが、図書館における評価改善のプロセスについて確認したい。

事務局：

事業報告の中にあります自己評価の結果については、委員の皆様からのご意見を踏まえて改善を図ることとしている。

また、ご意見については、外部評価と位置付け、次年度の予算等に反映する過程において各年度の事業計画を図っている。

委員：

古文書修復については、司書が講習に参加しているということなので、地域等との連携の中で技術等をご教授いただけたら、とても良いのではないかと意見を意図として申し上げたい。

また、レファレンスサービスについて、論文を書いた学生の意見として佐世保市立図書館で調べた際に、対応がとてもよかったということがあったので、引き続きレファレンスの充実を進めていただきたい。

委員：

例えば、自宅にある資料的価値が不明な古い昔の資料などを個別で収集し、データとして保存するなどの考えはないのか。

事務局：

現状として出版されるものであっても特に少ないため、積極的に収集する必要があると認識している。

以前、古い写真を収集するため、広く募集をしたことはあるが、多く集まり整理が追いつかない状況があったようではあるが、資料などは時間とともに消失するものであるため、検討していきたい。

資料保存に関連して、先ほどDXを活用した利便性の向上について話があったが、貴重な資料については閲覧等で劣化する危険性があるため、データ化することにより、多くの市民の皆様へ公開できるよう環境を整えていく努力をしていきたい。

委員：

著作権の問題はあると思うが、統廃合で学校が廃止される際に、どうにかして校歌の譜面や音源が残せないかと感じる。

「おはなし会」「ビブリオバトル」「アニメーション」など、学校へ司書派遣が多く行われているが、学校教諭へ資料収集の方法や、図書館資料の授業での活用などの支援が行われると、学校の授業も充実すると思う。

④その他

イ) 報告事項

「文化・スポーツ振興政策の新設について」

《 質 疑 》

会長：

令和6年4月から新しい「スポーツ・文化施策」のもとで、図書館運営が行われるようですが、今までの教育委員会の機関として活動しておりましたが、今後は市長部局の中に属することになる。

今までは教育委員会ということで教育とかなり密接な関係があった。それについては、今まで通りである。

図書館法の中にも、学校教育を支援するっていうのが、図書館の使命としてあるので、それを担保しながら、今までと同じように学校教育にも支援しながら、さらに広く文化施策にも、携わっていくというふうな形になる。

ご質問はないか。

委員：

その他の文化施設と連携を図るということで、指定管理制度の導入という話が出てくるように思うが、どのような考えなのか。

事務局：

現時点では、指定管理者制度の導入の考えはない。

○次回開催について

令和6年2月下旬から3月中旬までの間を予定。日程については事務局で連絡調整する。

(3) 閉会

以 上